

## 6 学習したことに関連した ニュースを探そう

**学**校の学習は、単元ごとに一区切りとなり、次の単元に移行します。そのため学んだことを定着させたり発展させたりする機会が乏しいくらいがあります。新聞を活用すると、その欠点を補完することが可能です。現在学んでいる内容に直接関連した記事だけでなく、かつて学習した内容に関わる新聞記事に子供が気づきスクラップすること自体に価値があります。

- (1) 教室のどこかに、各教科の年間学習予定を一覧にして掲示しておくといでしょう。既習の単元は色分けして分かるようにしておきます。これは、児童生徒自身が、学習の主体者として見通しと振り返りをしていく手立てとなります。
- (2) 教室の掲示コーナーに余裕があれば、教科ごとの掲示スペースを確保し、切り抜いた記事を掲示します。その場所がなければ、教科ごとのスクラップブックまたはファイルをつくり、その中を単元ごとに区切り、該当する記事を貼ったり封入していったりします。
- (3) このファイルの集積は、次年度の学習資料集としても生きていくはずで。
- (4) 学習したことに関連した記事探しは、生徒の自主的な活動が基本ですが、教師も積極的に行いたいと思います。「こんな記事があったよ」「学習したことに関連する記事っていろいろあるんだね」。この動機付けが、生徒の意欲を引き出すでしょう。
- (5) これは、スクラップ活動を基本とした「NIEタイム」の中で、該当記事が見つかった時に随時取り入れるという方法も考えられます。
- (6) 記事の例としては、例えば「歴史学習の事実を書き換えるような発見について報じた記事」「地球温暖化の最新情報」「言葉の使い方に関する文化庁の発表」「日食についての情報」「国際問題の現状や課題を取り上げた記事」「アスリートのトレーニング法や生き方についてのインタビュー記事」「教科書に載っている文学作品の作者についての新情報が載っている記事」「スマホやSNSの危険が現実になった事件の記事」「憲法や法律に関わる記事」「新しい工業製品の紹介記事」などなど、多岐にわたります。

